

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

地域連携推進センター ニュースレター 〈第56号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者:大崎優

はじめに

平成27年度地域協働ネットワーク会議のご案内

地域協働ネットワーク会議は、本学が主催となり、大学と地域との協働実践事例を通じて、大学が地域に関わる意義や影響、課題等を共有することで、地域との連携強化の場とするとともに、新たに連携を希望する地域が情報収集を行う場として毎年開催しております。

今回は学生からの視点を議論の中心におき、高知大学、高知工科大学、高知県立大学の学生の取組紹介を通じて、大学と地域との協働について議論を行います。

地域住民の方々以外にも、様々な機関の皆様にご参加いただき、活発な議論を行いたいと思いますので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

開催概要

日時:平成28年2月20日(土)13時~16時

場所:高知会館3階 飛鳥

タイトル:学生が語る「地域に関わる」ということ

プログラム:学生事例報告、ポスターセッション、分科会

プログラムの詳細や申し込み方法については、地域連携推進センターの岡本(088-844-8752、kt03@kochi-u.ac.jp)までお問い合わせください。

目次

p1 はじめに

p2 域学連携推進部門

Topic1. カツオフォーラム in 気仙沼

~みんなで語り、カツオの未来をつむぎ合う~

p3 産学官民連携推進部門

Topic1. ココプラ第23回シーズ・研究内容紹介

農学部応用微生物学研究室教授永田信治

Topic2. 土佐まるごと社中(TMS)

第19回定例会 in 四万十町のご案内

p4 知的財産部門

Topic1. 「グローバル知財戦略フォーラム2016」

参加報告

p5 地方創生推進部門

Topic1. 須崎市まち・ひと・しごと創生シンポジウムの

ご案内

Topic2. 平成27年度学生の県内定着または

雇用創出に係る研究経費の採択事業一覧

Topic 1. カツオフォーラム in 気仙沼

～みんなで語り、カツオの未来をつむぎ合う～

地域連携推進センターと高知県黒潮町との連携により運営する日本カツオ学会による、年1回の一大イベントである「カツオフォーラム」を、今年度は宮城県気仙沼市において開催いたします。

日時:平成 28 年1月 30 日(土)13 時 00 分～17 時 30 分

場所:サンマリン気仙沼ホテル観洋

主催:気仙沼市カツオフォーラム実行委員会、日本カツオ学会

オープニング【郷土芸能:大漁唄い込み】

挨拶【気仙沼市長(実行委員長):菅原 茂】

【日本カツオ学会会長(副実行委員長):若林 良和】

祝辞【衆議院議員:小野寺 五典】

【宮城県知事:村井 嘉浩】

基調講演Ⅰ「黒潮の果てのカツオ漁」【東北大学 災害科学国際研究所 教授:川島 秀一】

基調講演Ⅱ「世界のカツオ資源・生産・消費」

～中西部太平洋まぐろ類委員会(WCPFC)におけるカツオをめぐる議論～

【水産庁 資源管理部 参事官:神谷 崇】

パネルディスカッション「危機的なカツオをめぐる諸情勢、今、求められているもの」

コーディネーター 国立研究開発法人 水産総合研究センター 理事長 宮原 正典

パネリスト 日本かつお・まぐろ漁業協同組合 監事 市田 恵八朗(旭漁業㈱代表取締役社長)

一般社団法人 海外まき網漁業協会 専務理事 本多 実

一般社団法人 全国近海かつお・まぐろ漁業協会 代表理事専務 納富 善裕

北部太平洋巻き網漁業協同組合連合会 代表理事会長 成子 隆英

気仙沼鮮魚仲買組合 組合長 村田 憲治

気仙沼魚市場買受人協会 理事長 阿部 泰浩

大会宣言【気仙沼漁業協同組合 代表理事組合長(副実行委員長):佐藤 亮輔】

閉会【宮城県気仙沼地方振興事務所長(副実行委員長):渡辺 達美】



Topic 1. ココプラ第23回シーズ・研究内容紹介

農学部 応用微生物学研究室 教授 永田信治

高知県産学官民連携センター(通称:ココプラ)において、2月3日(水)18時30分から開催される、第23回シーズ・研究内容紹介にて、農学部 応用微生物学研究室の永田信治教授が「微生物発酵を利用した地域資源の高付加価値化～それが発酵食品！それが地産池消！」と題して研究内容紹介を行います。

〔テーマの詳細〕(ココプラHP <http://www.kocopla.jp/info/dtl.php?ID=597> より)

発酵食品は、人間が暮らしの中で編み出した知恵と技術の成果であり、地域の歴史と文化も生み出しました。しかし、生物資源の微生物発酵という現象が、どのような生物のどのような機能によって生じるのかを正しく認識することは難しく、発酵作用が食品の消化性、嗜好性、保存性を向上させるために、どのように適合しているのかを、正しく評価することも難しいのも事実です。そこで、地域で活用される生物資源を対象にして、酵母や乳酸菌などの有用微生物を新たに分離し、その生物資源を用いた発酵法を用いて、地域資源の付加価値を高める利用方法を検討したり、その検討過程を教育に生かすことによって、多様な地域貢献が可能になるのでは？と思います。

つまり、地域で利用される植物素材を用いて、(1)微生物の良好な分離源としての評価、(2)微生物に適した生育環境を提供する培養素材としての評価、(3)食品加工に有利な発酵種の安全性評価と、それを用いた発酵食品の創生を行っています。地域資源の高付加価値化を目指して、地域人材との協働作業を行うことによって、地域活性化に役立つ成果を生み出せるのではないのでしょうか？



(前回の研究内容紹介風景)

Topic 2. 土佐まるごと社中(TMS)

第19回定例会 in 四万十町のご案内

今回は土佐まるごと社中定例会として初めての四万十町開催となります。

産学官民連携に取り組む同じ思いを持った同志が一堂に会し、業種や分野、所属や肩書き、年齢、性別、国・地域を越えて、ひとりの人間としてフラットな関係で、双方向のコミュニケーションを深めることにより、さらに一層、知の創造やイノベーション創出に結びつける機会となるものと期待して開催します。ご関心のある方のお越しをお待ちしています。個人の参加も歓迎します。

開催日時：平成28年2月20日(土)

15時00分～17時50分(第19回定例会)

18時00分～20時00分(交流会)

定例会会場：四万十町役場東庁舎1F多目的ホール

<http://www.town.shimanto.lg.jp/yakuba/>

交流会会場：コールマン

高知県高岡郡四万十町琴平町14-42

<http://r.gnavi.co.jp/740ykhm30000/>

定例会参加費：無料

交流会参加費：5,000円

主催：土佐まるごと社中(TMS)

共催(予定)：四万十町、高知県産学官民連携センター、
高知大学地域連携推進センター



(第18回定例会プレゼン風景)

Topic 1. 「グローバル知財戦略フォーラム2016」参加報告

平成 28 年 1 月 25 日(月)、26 日(火)に、東京都渋谷区のセルリアンタワー東急ホテルにおいて、「グローバル知財戦略フォーラム2016」が、開催されました。(特許庁、(独)工業所有権情報・研修館主催)

このフォーラムでは下記の観点から、先駆的に取り組んでいる企業等の事例紹介、有識者からの問題提起、それらを踏まえた議論等が特別講演やパネルディスカッションを通じて行われ、今後のグローバル知財戦略の実行等のヒントが提供されました。

- ①グローバルビジネスに則した知財マネジメント
- ②グローバルビジネスを見据えた地方創生
- ③グローバルビジネスを展開するための知財人材の育成等のあり方

知財部門として、このフォーラムで得られた知見等を参考に、今後の知財戦略等を考えて行きたいと思います。



Topic 1. 須崎市まち・ひと・しごと創生シンポジウムの開催

本学と連携協定を締結している須崎市において、「須崎市まち・ひと・しごと創生シンポジウム『すさきをこれからどう変える？～23,000人の幸せな未来を考える～』」が開催されます。

本学からは地域連携推進センター長の受田浩之教授が基調講演を行うほか、パネルディスカッションでは黒笹慈幾特任教授、岡村健志特任講師も登壇し、今後の須崎市の地方創生において重要となる視点や課題について地元住民や中高生と意見交換を行います。

須崎市における地方創生を考えるシンポジウムですが、地方創生に関する行政や地方の動向や中学生・高校生の考え方を広く知ることができる機会ですので、ぜひご参加ください。

開催概要

タイトル：須崎市まち・ひと・しごと創生シンポジウム
「すさきをこれからどう変える？」
～23,000人の幸せな未来を考える～

日時：平成28年2月14日（日）12時30分～16時30分

場所：須崎市立市民文化会館

内容：基調講演、中高生のテーマ発表、
パネルディスカッションほか

須崎市まち・ひと・しごと創生シンポジウム

すさきをこれから
どう変える？

～23,000人の幸せな未来を描く～

<同時開催>
須崎高校フィールドワーク成果パネル展示会

日時
2016年2月14日(日)
12:30～16:30

場所
須崎市立市民文化会館

参加費
無料

対象者

須崎市にお住まいの方
須崎市にお勤めの方
須崎市に興味のある方
地方創生に関心のある方など

【主催】
須崎市・須崎市教育委員会
須崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会
【後援】
高知県・高知県教育委員会・高知大学・高知新聞社
RKC高知放送・KUTVテレビ高知・NHK高知放送局
KSSさんさんテレビ・よさこいワールドネット



受田 浩之 氏



黒笹 慈幾 氏

プログラム

12:30～ 開会挨拶

【第1部】すさきの未来を知る

12:45～ 基調講演

【講師】受田 浩之 高知大学副学長

13:35～ 須崎市まち・ひと・しごと創生協会の説明

【第2部】みんなで考える未来のすさき

14:25～ テーマ発表

「中・高生が考える2060年の須崎市」

15:00～ パネルディスカッション

【パネリスト】

受田 浩之 氏

黒笹 慈幾 氏（須崎ハチマチまちのチロル）

地域住民代表

子育て世代代表

須崎市長

【コーディネーター】

岡村 健志 氏

（須崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員長）

Topic 2. 平成27年度学生の県内定着または

雇用創出に係る研究経費の採択事業一覧

文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に採択された「まち・ひと・しごと創生 高知イノベーションシステム」を推進することを目的に、高知県の企業等（企業、自治体、NPO、学校、病院等）の活性化を促すなど雇用の拡大や地域での起業に結びつく研究又は地域への就職率向上に寄与する研究を公募しておりましたが、このたび以下のとおり4件が採択されましたのでお知らせします。

- 研究題目：生活史を基調に安田町集落活動センターを魚梁瀬森林鉄道保存・活用の拠点として整備し中芸5ヶ町村の観光雇用を創出・拡大するための研究
研究者名：吉尾寛（代表／人文社会科学系人文社会科学部門 教授）
小幡尚、後藤拓也、岩佐光広、赤池慎吾
- 研究題目：理系マインドを持った警察職員の県内採用率向上に関する研究
研究者名：西脇芳典（人文社会科学系教育学部門 講師）
- 研究題目：地域中小企業への就業率向上に向けたプログラム開発と仕組みづくり
研究者名：須藤順（代表／総合科学系地域協働教育学部門 講師）
中澤純治、石筒覚、藤岡正樹
- 研究題目：土佐あかうしの増頭・高付加価値化を可能にする繁殖雌牛の高度利用に関する研究
研究者名：松川和嗣（総合科学系生命環境医学部門 准教授）